

第1回「市民の声を聴く会」での意見等

番号	地区	意見等の内容	回答	協議先
1	稲倉	平成8年から議員報酬が上がっていないとのことであるが、議会改革として現在どのように考えているのか。	議員定数及び議員報酬に関してですが、井原市議会で設置しております議会活性化特別委員会において検討することにしており、平成24年3月末までに一定の方向性を出していきたいと考えております。 なお、議員定数及び議員報酬の検討結果につきましては、議会だより、ホームページ等でお知らせいたします。	議会活性化
2	稲倉	保育園施設整備。出部幼稚園の3歳児保育。稲倉には保育園がなく、幼稚園では午前中しか見てもらえない。稲倉も早く3歳児保育を。西江原幼稚園の実績と井原市の幼保一体の考えをお聞きしたい。	①西江原幼稚園は、平成19年度に開園し、5年目を迎えています。 幼稚園と保育園の園児が同じ保育を受けるということで、集団の人数が増え、活動の場や経験の広がりが見られること、0歳児から5歳児までの異年齢の交流が進み、優しさや思いやりなど豊かな心の醸成が見られるといったメリットがあります。 一方で、所管省庁が文部科学省と厚生労働省と異なるため、制度上の違いがあります。 また、健康診断など、幼稚園部分と保育園部分の事務の重複や、幼保で降園時間が異なるため、職員の全体会議を開くことが困難であるなどの、デメリットもあります。(執行部からの報告) ②教育委員会としては、民間の保育園のコンセンサスも得ながら、平成24年度より施設・設備・人員配置等が整った幼稚園から、3歳児教育を順次実施する方向で現在準備を進めているところです。	市民福祉
3	稲倉	自走式の草刈り機2台を1反以上でしか貸し出してもらえない。どうにかならないか	担当の農林課に貸し出し条件の見直しについて確認したところ、平成23年度に事業主体である「井原市地域耕作放棄地対策協議会」に検討を要請し、検討結果については平成24年度からの対応となると回答がありました。 また、2人以上の個人が共同で申請する場合は、団体として認められますので今後も制度を活用して耕作放棄地の解消にご協力いただければと思います。	建設水道
4	稲倉	要望があるのなら台数を増やしてほしい。	なお、現在の草刈り機の貸出条件は以下のとおりです。 対象者：市内の耕作放棄地を10アール以上解消できる個人又は団体 貸出期間：7日以内 使用料：1回 3,000円	建設水道
5	稲倉	放課後児童クラブで発達障害の子供を受け入れるようにと広報に書いてあった。受け入れる事が出来ないで、紹介してもらうよう子育て支援課に専任の指導員をおねがいしているが、何も前進していない。どのようにお考えか。	放課後児童クラブでの発達障害児の受け入れにつきましては、指導員の確保が必要となるので、それぞれの運営委員会には、利用の希望がある場合には、可能な限り受け入れに努めてもらうようお願いしているところです。	市民福祉
6	美星	大規模農道が市道と県道が混在している。10年以上たっても統一されていない。県道1本にしてほしい。のり面の改良の回答がない。500M未満ハザードマップで危険個所の提示があったが、22年3月までに結論をだすと言われたが、いまだ回答がない。	担当した班員が既に回答済み ・市道を県道へ1本化することは難しい ・のり面改良については平成23年度予算に計上されており、今年度中に実施 ・加谷地区土砂災害警戒区域の指定については、4月に岡山県から市へ指定の通知を受けている。現在、市において避難経路等を検討しており、12月～1月の市広報と同時に関係自治公民館長等へ区域図を配布予定	建設水道

7	美星	水道代に関して、井原市(野上)と美星町の水道代が違いすぎる。同じ金額にならないのか。	<p>井原市の水道料金体系は、井原地区の上水道、芳井地区の4簡易水道及び美星地区の3簡易水道の計8料金体系となっております。</p> <p>担当の上水道課に確認したところ、美星簡易水道は岡山県広域水道企業団から水を購入していますが、当初計画では、1日当たりの最大供給水量を2,200立方メートルと算定しております。現在の水道加入率は85%であり、1日当たり平均使用水量は611立方メートルと計画水量の約28%です。一方、企業団に支払う水道料金は、2,200立方メートルを基準に基本料金が定められており、また2,200立方メートルの30%は最低使用料金として算定され、1日当たり30%に満たない使用量の日においても、30%の使用料を支払っています。</p> <p>収入の大きな要因である1人1日平均使用水量は、平成22年度で比べると、井原地区241リットル、芳井中央簡易水道232リットル、美星簡易水道149リットルであり、美星簡易水道は特に少ない状況です。</p> <p>美星簡易水道の水道管理費は平成22年度決算で約9,000万円、美星簡易水道の収入は約7,100万円であり、収支不足の約1,900万円は基金を取り崩している状況です。以上のことを考慮すると、美星簡易水道の料金の引き下げは非常に厳しい状況であるとのことです。</p> <p>現在、国は1市1水道を目標とした施策を推進しており、井原市では経営の一元化によるソフト統合を目指しております。今後、統合して1水道となると、利用者負担の公平性を考慮し料金の一元化が必要です。このため市議会としても、今後継続的に市と検討し、将来的には水道料金は市内で統一すべきと考えております。</p>	建設水道
8	美星	美星調理場が老朽化している。美星の負担も増えている。調理場の施設の見直しを。調理員の人もパートで労働条件も厳しい。合併していい方に合わせて欲しい。美星の牛乳を飲んでいない。安全な調理が出来る環境にしてほしい。	<p>美星調理場は平成12年の建築で現在11年が経過しています。厨房機器については定期的な点検を実施し、必要なものは修繕を実施するとともに、耐用年数を経過した機器は、計画的に更新されています。また、毎日の清掃、消毒等、衛生面には特に配慮されています。</p> <p>調理員は、正職員のほか長期臨時及びパートの方がおられますが、勤務条件は市があらかじめ明示したうえで雇用契約されており、待遇は井原調理場と同じです。</p> <p>美星地域では以前、美星牛乳が提供されていましたが、平成22年度から美星牛乳を製造されている岡山西農業協同組合が入札に参加されていないため他社の牛乳が納入されています。</p>	総務文教
9	美星	民家から80メートル離れていないと補助金が出ないのか。	対象外となる奉仕活動は、民家から50メートルの範囲における奉仕活動です。	市民福祉
10	美星	旧三山幼稚園跡地園舎に歴史資料館がある。教育委員会の管理であるが、管理が出来ていない。夢が原の展示場にいっしょに展示することはできないか。	<p>担当課の文化課に井原市星の郷民具伝承館の施設管理について確認したところ、見学の申請があった場合、鍵を管理している美星公民館の職員が鍵の開閉を行っているとのことでした。また、建物等の管理状況は、敷地内の草刈り、生垣の植木の剪定を行っており、本年度は雨どいの修繕が計画されています。</p> <p>歴史民俗資料館の施設整備の方針については、建物の状態から考えても現在の建物を有効に維持管理し、修繕が必要な場合は適時に対応するとのことでした。</p> <p>民具伝承館に収蔵しているものは、主に美星地域で昔から使用されていた農機具や道具類を寄贈いただいたもので、民俗資料として貴重なものであり、収蔵品の保存管理についても万全を期していただくよう執行部をお願いしていきます。</p>	総務文教

11	美星	壊滅集落があり、草刈りが出来ない。補助金をもらってもする人がいない。幹線道路しか草刈りをされていない。何か方法は無いのか。	<p>まず、井原市の草刈りの現状についてですが、幹線市道、バス路線等主要路線の草刈りは市が重点的に行っています。また、自治会等が実施する草刈りにつきましては、次の3つの補助制度が活用できます。</p> <p>①おかやまアダプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・500m以上(うち県管理道路が概ね半分以上を含む一定区間) ・10名以上の団体 ・年間4回以上清掃美化活動等を行い、常に清潔で良好な状態に保つ ・基本型(ゴミ拾い等) 2万円、付加型(基本型+除草) 3万円 <p>②井原市道路アダプト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一種市道で連続して300m以上 ・地域住民及び企業等の団体 ・清掃美化活動の実施回数は、一年度当たり概ね4回以上 ・活動奨励金 1万円 + 用具購入費 1万円(実費上限) <p>③井原市快適生活環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一種市道(1・2級)、通学路、集落と集落を結ぶ林道(住宅が連担している道路、民家から50mの範囲を除く) ・市内各地区において組織された団体 ・原則として年2回以上(春・秋) ・片側1m当たり25円 <p>お尋ねの高齢化や人口減少により集落で草刈りの実施が困難になった場合ですが、担当の都市建設課に確認したところ、市内の全ての生活道路等に対応することは不可能であり、市としては原則、地区内の道路につきましては1集落だけでなく地区全体として対応をお願いしたいと考えているとのことを確認しました。</p> <p>また草刈りの軽減のため、一部国道で実施されている法面のコンクリート舗装について今後の検討課題と考えているとが確認できました。</p> <p>市議会としても井原市の高齢化、過疎化を踏まえ引き続き議論をしていく課題と考えております。</p>	建設水道
12	美星	美星国保診療所が医師の都合で2日休まれた。指定管理責任者として責任はないのか。代りの先生が来ることは無いのか。	可能な場合は、代診で対応していますが、医師不足のため急きょ代わりの医師を見つけることは難しいとの回答でした。	市民福祉
13	美星	美星1回ではなく、美星でもっと開催してほしい。最低2か所はしてほしい。	「市民の声を聴く会」は、市内13小学校区単位で年1回以上開催することにしてあります。今後については、地元の代表者と協議をして検討していきたいと思っております。	広聴広報
14	美星	方面団にお金が出ていない。	旧美星町消防団には、町から消防団の本部に対して運営費が交付されていました。井原市では、消防団の体制等が異なるため、合併後は方面団に対しての運営費は交付されていませんが、方面団から消防本部に運営費の交付を要望されています。	総務文教
15	野上	新見市は議会改革で定数と報酬を検討している。特別委員会であと1年半で見直しをして、選挙するべきではないか。20人が18人でいいと思う。報酬については、人数が削減されれば下げる必要はない。	議員定数及び議員報酬に関してですが、井原市議会で設置しております議会活性化特別委員会において検討することにしており、平成24年3月末までに一定の方向性を出していきたいと考えております。 なお、議員定数及び議員報酬の検討結果につきましては、議会だより、ホームページ等でお知らせいたします。	議会活性化

16	野上	共同アンテナの所がNHKが補助を出すから井原放送に入るといわれた。	過去にNHKが共同アンテナで視聴していた地域に対して、NHKから補助金を交付するから井原放送に加入するような働きかけがあったことは確認できました。なお、この件に関して井原放送は一切関係していないことも併せて確認しました。	総務文教
17	野上	最初の出資の補助金はいくらか	井原放送株式会社へは、平成10年4月に150万円出資しました。その後、平成12年度に施設整備事業に伴い150万円の増資を行い、さらに合併により旧芳井町及び旧美星町の出資150万円を合わせ、現在450万円出資しています。	総務文教
18	野上	井原放送でBSが入った。BSのお金を取られた。それはどうなのか。	井原放送に確認したところ、アナログ放送のときはBS放送も送信しており、デジタル、アナログの機器に関係なく放送を見ることは可能でした。しかし、BS放送を見るには、NHKに対してBS放送の受信料を払わなければならない、NHKが訪問してBS放送の契約を行っていたことが確認できました。 また、現在はデジタル放送となり、BS放送を受信するにはBSアンテナ、あるいは専用チューナーを設置することが必要とのことです。	総務文教
19	野上	鳥獣被害、駆除について、駆除の許可を簡単にしてほしい	イノシシや猿など有害鳥獣の駆除についてですが、野生鳥獣については「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」「鳥獣による農林水産業に係る被害の防止のための特別措置に関する法律」「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」という3つの法律があります。これらの法律に基づき有害鳥獣の駆除が定められております。岡山県では11月15日から2月14日(イノシシは2月末まで)の間は猟期のため狩猟免許を所持されている方は捕獲ができますが、猟期以外の期間は有害鳥獣駆除の許可がなければ捕獲することができません。駆除の許可を簡単にしてほしいとのご意見ですが、前述の法律の規定から現段階においては困難と考えます。 また、狩猟免許の取得につきましても、同様に法律の改正がなされない限り、容易に取得できないものと考えます。 今後の有害鳥獣被害対策についてですが、担当の農林課に確認したところ、わなの免許取得に関する補助制度、また地域住民の自衛体制の整備を目的に電動ガン等に対する補助制度の創設ができないか、井原市鳥獣被害防止計画の見直しを検討していくとのことであり、市議会としても、猟期の期間延長や法律の改正など、継続して調査研究のうえ可能なものから国や県に要請をしていきたいと考えております。	建設水道
20	野上	県道291号、井原黒忠線の改良をお願いしたい。県へ依頼してもらえるのか。	担当の都市建設課に確認したところ、市から県への要望は、毎年5月頃に井原市内の岡山県管理道路及び河川等の改良及び修繕要望を、岡山県備中県民局井笠地域事務所へ行っています。ご質問の県道黒忠井原線につきましては、以前より次の3区間の改良要望を行っているとのことです。 ①国道486号線(細羽石油)から神戸池付近までの約800m区間 家屋が連担している区間を除き、興讓館高校グラウンドから体育館までの間を、平成17年度から測量を開始し、平成21年度に完了しています。 ②青野町中尾地内から野上町刈屋原地内の約400m区間 要望区間のうち約200mについては、平成21年度に5m(1.5車線)改良が完了。残る約200m区間については岡山県に確認したところ未計画であるとのことです。 ③野上町刈屋原地内から県道野上矢掛線交差点付近までの巨部改良 平成17年度から用地測量に着手し、一部については平成21年度までに完了しています。残る区間については、用地買収が難航し未整備となっており、工事再開の見通しは立っていないとのことです。 なお、道路整備につきましては用地の確保が大前提であり、地元の協力がなければ前に進まないことがあることをご理解ください。	建設水道
21	井原	基本条例と情報公開について。すべての情報を市民と共有することで、プロセスも公開してほしい。委員会で資料をもらえるようになった事を歓迎している。井原町の人も委員会の傍聴に行きましょう。生の声が聴けます。	市議会では、市民に「真に開かれた議会」とするため、本会議のほか、すべての委員会、全員協議会を原則公開としていますので、多くの市民の方に傍聴にお越しいただきたいと思っております。また、議会が保有する情報についても、ホームページ、議会だより等で積極的に公開していますのでご覧ください。 現在、ケーブルテレビで開会日、閉会日、一般質問の様子は生放送していますが、委員会の生放送、インターネットでの動画配信については今後検討していくこととしています。	議会運営

22	井原	雇用の確保について。働くところが無いので若者がいなくなる。議員として雇用の確保に対してどのように何をしているのか。	雇用の確保については、最優先課題と考え建設水道委員会で継続調査していきます。市民の皆さまからも広く情報提供をお願いします。	建設水道
23	井原	合併のメリットは。人口が減っている中、職員数は減っていない。正規職員は減っているが、嘱託、臨時が増えている。トータルは変わっていない。人件費はどうなっているのか。	合併後の職員及び人件費の推移については、平成17年度が434人で29億3,226万円であったものが、平成22年度では385人で24億5,711万円で、職員は49人減少し、人件費は4億7,515万円の減額となっています。 一方、嘱託・臨時職員については、平成17年度が102人で2億7,412万円であったものが、平成22年度では137人で3億9,668万円で、人数は35人増加し、人件費は1億2,256万円の増額となっており、正職員、嘱託・臨時職員を総合すると差し引き14人減少し、3億5,259万円人件費が減額されています。 現在は、井原市第5次行政改革大綱・集中改革プランに平成27年に職員数を381人にすることを目標に掲げて適正化が図られています。市議会としても、今後、適正な人員管理が維持されていくことを確認していきます。	総務文教
		議員定数、報酬はどのように考えているのか。	議員定数及び議員報酬に関してですが、井原市議会で設置しております議会活性化特別委員会において検討することにしており、平成24年3月末までに一定の方向性を出していきたいと考えております。 なお、議員定数及び議員報酬の検討結果につきましては、議会だより、ホームページ等でお知らせいたします。	議会活性化
24	井原	芳井支所、美星支所を廃止してはどうか	総務課に確認したところ、第5次行政改革大綱・集中改革プランの中で廃止の方向性は示しておらず、現時点での廃止は考えていないが、将来的には業務量の変化、あるいは組織・機構が変化する可能性はあるため、継続的に支所における組織や職員配置を検討していくとのことです。 議会としても、市民ニーズに対応する行政サービスが提供されるよう、今後も執行部と議論を重ねていきます。	総務文教
25	井原	職員が多すぎる。減らすべき	合併後の職員数については、平成17年度が434人でしたが、平成22年度は385人で49人減少しています。一方、嘱託・臨時職員については、平成17年度が102人でしたが、平成22年度では137人で35人増加しています。	総務文教
26	井原	100人は減らしてほしい	また、人口規模や産業構造が井原市と類似した全国89市の人口1万人当たりの職員数をみると、平均97.50人ですが、井原市は74.88人と非常に少ない職員体制にあります。 現在は、井原市第5次行政改革大綱・集中改革プランに平成27年に職員数を381人にすることを目標に適正化が図られています。市議会としても、今後、適正な人員管理が維持されていくことを確認していきます。	総務文教
27	井原	新橋の下の水道管の付け替えが5年実行されていない	担当の上水道課に確認したところ、平成23年度において5箇所漏水が発生していることから、早急に更新事業を行うべく、平成23年度において管路更新実施設計業務委託を実施し、更新工事について平成24年度での予算化に向け検討しているとのことで、市議会としてもその進捗状況を適宜確認していきます。	建設水道
28	井原	グラウンドゴルフ場に5億かけるのはいかがなものか。公社はいくら借り入れて、金利をいくら払っているのか	山王台地開発事業(四季が丘団地)に係る借入金残高は、平成16年度末の造成工事完了時点では28億5,450万円でしたが、平成22年度末には10億円となっており、平成23年6月に4億円を返済した結果、現在の借入金残高は6億円となっていることを確認しました。 借入金利息の支払いについては、平成22年度は1,069万円を支払っており、平成23年度は598万円の支払い予定で、今後は分譲の状況に合わせて返済していくこととされています。	総務文教
29	井原	市が一般の土地を借入したときは、3年に1回見直しをするのではないかと。民間では土地代が下がっていても、市の評価は下がっていない。民間とずれていないか。	土地開発公社に確認したところ、土地開発公社の土地の評価は帳簿価格によるとのことで、帳簿価格とは、用地費、補償費、工事費、測量設計費、その他諸経費などその土地に要した費用の総額になっていることを確認しました。 しかし近年、地価は下落しており、市議会としては、民間で売買されている実勢価格とは、若干ずれているように認識しています。	総務文教

30	井原	桜橋の下のブロックにごみが引っ掛かっている。改修をお願いしたい。	担当の都市建設課を通じ現地を確認しましたところ、流木が桜橋の橋脚付近に引っ掛かっておりましたので、小田川の管理者である岡山県へ撤去要望が完了したことを確認しました。	建設水道
31	出部	グラウンドゴルフの予算について、どこからそのお金を持ってくるのか?6億もかけて市長は反対している者もいるのになぜ強硬に進めるのか。出部の連合協議会が市へ反対した。市側の回答は市議会の要望もあり市民の要望もあって建設にいった。市議会はいつ要望したのか。議員全員の話を聞きたい。なぜ地元の議員を呼んでないのか? 言いたいことは山ほどある。	井原市議会としてグラウンドゴルフ場の建設について要望したことはありません。下出部自治連合会からの要望に対する教育委員会の回答に「市議会をはじめ多くのグラウンドゴルフ場関係団体等の要望を受け」とあったため、教育委員会に確認したところ、「グラウンドゴルフの建設については、一般質問において5人の方から延べ6回にわたり要望をいただいていることをはじめ、グラウンドゴルフ協会や多くの愛好者及び協働のまちづくり市民推進室での要望を受け」が正しい表現であるので、教育委員会から下出部自治連合会へ訂正した回答をしていただくことに決定しました。	総務文教
			「市民の声を聴く会」は、議会基本条例に規定しているもので、井原市議会として開催させていただいています。各地区における課題について意見を交換する場合、地元の議員がいた方が良い場合も考えられますが、議会基本条例で定める市民と議員との意見交換の趣旨は、政策、提言を行っていくことを目的としていますので、地元こだわることなく班編成を行いました。地元の議員の出席につきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。	広聴広報
32	出部	市民病院の救急患者を断ることが多すぎる、どうにかならないか?	医師不足が要因のひとつでもあり、議会としても執行部に要望していくとともに、今後情報収集に努めます。	市民福祉
33	出部	子供が肺炎になったが入院もできない状態だ。	お子さんの詳しい病状が解りませんが、対応可能な事案につきましては基本的に入院を受け入れております。小児科では、月～金曜日毎日の診察と健診、予防接種を小児科常勤医師1名で対応しており、医師の疲弊を防ぐため休日・夜間救急は行っておりません。特殊性を有する小児救急、新生児医療は集約化が進んでおり、病状により専門病院、拠点病院を頼らざるを得ない状況にあります。	市民福祉
		医療を行政法人にしたらどうか。	井原市民病院は、平成14年4月から地方公営企業法全部適用を実施しています。市民病院に確認したところ、組織、予算、給与、勤務条件、契約事務等について独立した権限を有し、柔軟な経営を行うことが可能となり、事務手続などの迅速化や職員の計画的な人事配置により運営体制の強化を図るなど、合理的、能率的な経営が期待できるとのことでした。また、市民アンケートにおいて、利益優先ではないので市立病院であってほしいという声が多く、経営形態の現状維持を希望する方が約67%を占めており、その一方、民営化、市民病院は不要という方は合わせて9%程度であり、市民病院としては、当面現行の経営形態を維持し、経営の健全化を目指すとの回答でした。市議会としては、今後、状況を判断しながら必要に応じ議論していきたいと考えています。	
34	出部	午後の診療科はなぜできないのか?夜の対応に対しても一切改革できてない!!	午前だけの診療科目は下記のとおりです。 ①整形外科:月～金曜日午前だけの診療 午後は予定手術、緊急手術、及び入院患者の診療にあてています。 ②眼科:木曜日は午前だけの診療 午後は岡山大学医局の指示により、他院へ診療に出向いています。 ③リハビリテーション科:毎週水曜日の午前のみ岡山大学からの派遣医師により外来診療を行っています。 新医師臨床研修制度の開始に伴う一連の流れにより病院への派遣医師が不足するようになりました。また、診療科間、地域間での医師の偏在等により、医師確保は困難になっています。 午後の診療については、待ち時間を短縮するために原則予約制としていますが、当然のことながら、午後の診療時間内での急患の受け入れにも対応しています。	市民福祉

35	出部	谷本市長の時、リフレッシュ公園へ監視小屋を造ってもらう約束をした。公園の監視人をおいてくれないか、不法投棄が多くて困っている。掃除をする人を来させてくれとは言っていない。露天商の衛生、管理の観点からも監視人を置いていただきたい。	担当の都市建設課に確認したところ、不法投棄等を取り締まるために、リフレッシュ公園に監視小屋を設置し、監視人を置くことは困難ですが、今後地元自治会と協議をしていくことを確認しました。	建設水道
36	出部	勤め先がないから井原に帰ってこない。井原市役所の試験も9月にある。一般企業や岡山市、福山市は5月に行っている。井原でもできるようにしていただき、魅力ある街づくりをしてほしい。	担当の総務課に確認したところ、職員採用試験については、従前より他市町村と足並みをそろえ、9月の第3日曜日に実施しており、今後も同様に実施する予定ということをお聞きました。 また、魅力ある街づくりについては、井原市のまちづくりの指針である「井原市第6次総合計画」では、まちづくりの6つの基本目標の1つに、産業の観点から「活力と交流を生み出すまち」を掲げており、豊かな地域資源や、さまざまな技術、情報ネットワーク等を活用しながら、工業をはじめ農林業や商業、観光等多様な産業の振興を図り、地域に根付いた産業の地力を伸ばすこととしております。また、自然や観光拠点などの有力な資源を活用し、まちに賑わいをもたらすとともに、井原らしい新産業を創出し、雇用の場の拡充を図ることとしており、市議会としてもこの基本目標に沿い、市民福祉向上のため積極的に政策提言を行っていきたいと考えております。	総務文教 建設水道
37	出部	副議長を経験していないのに議長になるのはどうしてか？選挙をしたけど水面下で決まっていたのではないかと、水面下で決めるのは議会改革にならない。	副議長を経験せず議長に就任することは、法律上の問題はなく、これまでもそうした例はあります。 また、議長・副議長選挙の立候補者は、それぞれ当選の意志をもって立候補しており、所信表明をした後の投票の結果によって初めて当選者が決定するもので、投票前に決定しているものではありません。 なお、議長・副議長選挙制度は、議会基本条例に基づき平成23年5月に初めて実施した制度です。今後も「市民に真に開かれた議会」を目指すため全力で取り組んでまいりまのでご理解いただきたいと思ひます。	議会運営
38	出部	四季ヶ丘についての今後をどう思っているのか？市民の声をどのように聞き踏まえてどのように思っているのか？市の職員が変わるので問題が起きても解決しないので困る。	四季が丘団地は自然景観に配慮した快適性の高い居住空間に加え、福祉機能や企業用地も備えた複合団地で、若者から高齢者まで誰もが安心して住み続けられる快適な居住空間を提供することを目的に整備されています。 市議会としても、5年後、10年後にさらに快適に居住できる団地になるよう、みなさんのご意見をいただきながら議論を重ね、市政の発展につなげていきたいと考えています。	総務文教
		地元の議員を市民の声を聴く会に呼んでいただきたい。	「市民の声を聴く会」は、議会基本条例に規定しているもので、井原市議会として開催させていただいています。 各地区における課題について意見を交換する場合、地元の議員がいた方が良い場合も考えられますが、議会基本条例で定める市民と議員との意見交換の趣旨は、政策、提言を行っていくことを目的としていますので、地元にご協力いただくことなく班編成を行いました。 地元の議員の出席につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。	広聴広報
39	青野	議員定数、議員報酬35万は高いのではないのかと言われますが手取りは24万あまりである。その旨は市民にもっと伝えるべきだ。定数においてはどうか？	議員定数及び議員報酬に関してですが、井原市議会に設置しております議会活性化特別委員会において検討することにしており、平成24年3月末までに一定の方向性を出していきたいと考えております。 なお、議員定数及び議員報酬の検討結果につきましては、議会だより、ホームページ等でお知らせいたします。	議会活性化

40	青野	地元の議員がなぜ居ないのか。	「市民の声を聴く会」は、議会基本条例に規定しているもので、井原市議会として開催させていただいています。各地区における課題について意見を交換する場合、地元の議員がいた方が良い場合も考えられますが、議会基本条例で定める市民と議員との意見交換の趣旨は、政策、提言を行っていくことを目的としていますので、地元こだわることなく班編成を行いました。地元の議員の出席につきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思います。	広聴広報
		次の開催はいつか。	「市民の声を聴く会」は、市内13小学校区単位で、年1回以上開催することになっています。今回は、議会基本条例制定後、初の開催でしたので、8月になりましたが、今後は市の予算を審議する3月定例会終了後に開催したいと考えています。具体的な日程については、地元代表者と協議の上決定したいと思いますので、これからも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。	広聴広報
41	青野	次回から大勢の人に会へ来て頂く為に場所の設定も考慮してほしい。体育館とか。	開催場所については、地元の代表者と協議の上決定させていただいています。開催場所は、公民館に限りませんので皆さんからのご意見も参考にしながら、今後も地元の代表者と協議して決定させていただきたいと思います。	広聴広報
42	青野	西江原の細羽石油から青野に向けての通りについて	担当の都市建設課に確認したところ、市から県への要望は、毎年5月頃に井原市内の岡山県管理道路及び河川等の改良及び修繕要望を、岡山県備中県民局井笠地域事務所へ行っています。ご質問の県道黒忠井原線につきましては、以前より次の3区間の改良要望を行っているとのことです。 ①国道486号線(細羽石油)から神戸池付近までの約800m区間 家屋が連担している区間を除き、興讓館高校グラウンドから体育館までの間を、平成17年度から測量を開始し、平成21年度に完了しています。 ②青野町中尾地内から野上町刈屋原地内の約400m区間 要望区間のうち約200mについては、平成21年度に5m(1.5車線)改良が完了。残る約200m区間については岡山県に確認したところ未計画であるとのことです。 ③野上町刈屋原地内から県道野上矢掛線交差点付近までの巨部改良 平成17年度から用地測量に着手し、一部については平成21年度までに完了しています。残る区間については、用地買収が難航し未整備となっており、工事再開の見通しは立っていないとのことです。 なお、道路整備につきましては用地の確保が大前提であり、地元の協力がなければ前に進まないことがあるをご理解ください。	建設水道
43	青野	議会だよりに書いてあった緊急通報端末機について	緊急告知システムは、市内全戸に緊急告知端末器を設置し、CATV網を通じて市内全域に音声による放送を行うことにより、緊急時に市民の生命や安全を守るための迅速な情報の伝達、避難指示等を行うために整備されます。 なお、緊急告知端末機では次のような情報が配信される予定です。 ●緊急情報 1)避難勧告等、災害に関する情報 2)火災の発生・鎮火に関する情報 3)健康被害に関する情報 ●一般情報 1)定時放送(朝・夕の2回を予定) 今日の出来事(市内ニュース)、お悔やみ情報、市役所からのお知らせ等 2)不定期放送 ・行政情報 急な通行止めや断水など日常生活に密着する情報等 ・地域コミュニティ情報 地域行事や自治会連絡に関する情報 学校や団体などから地域へお知らせする情報	総務文教

44	木之子	地元の議員が来ていないのに何のためにこんな会をするのか。	「市民の声を聴く会」は、議会基本条例に規定しているもので、井原市議会として開催させていただいています。 各地区における課題について意見を交換する場合、地元の議員がいた方が良い場合も考えられますが、議会基本条例で定める市民と議員との意見交換の趣旨は、政策、提言を行っていくことを目的としていますので、地元にご協力いただくことなく班編成を行いました。 地元の議員の出席につきましては、今後の検討課題とさせていただきたいと思っております。	広聴広報
45	木之子	お盆の救急ですが小児科の救急はどこがやっているのか聞いたがどこもしていなかった。市の対応は非常に悪かった。救急の表示をしっかりと欲したい。	いただいたご意見を執行部に伝えました。	市民福祉
46	木之子	水利関係について、水路に青味泥が出て水が流れないので困っている。なぜ青味泥ができるのか。	アオミドロは、水中の養分(窒素)が多くて水温が高く、日光がよく当たる場所で多く発生するといわれています。 例)・水路へ肥料等により養分を多く含んだ水田の水を排水し、その水が滞留した箇所 ・水路へ家庭排水が流れていて、その水が滞留した箇所 ・水路の水量が少なく水温が高く、日当たりのよい箇所 アオミドロの発生を抑制するため、水が滞留しないよう水路の清掃に取り組んでいただきたいと思います。また、滞留する原因が水路の修繕等が必要な場合は、ご相談いただければと思います。	建設水道 市民福祉
47	木之子	井原鉄道の赤字に対して井原市議会では今後どう思っているのか？	井原鉄道の経営に関して、市民の方は高い関心を持っておられ、執行部にこうしたご意見があったことを申し伝えています。	総務文教
48	木之子	値段が高いから利用しない、結果として集客が悪いのではないのでしょうか。	井原鉄道の経営に関して、市民の方は高い関心を持っておられ、執行部にこうしたご意見があったことを申し伝えています。	総務文教
49	高屋	高齢者の医療、交通等老人が受けるサポート対応はどのようにしているか。	高齢者のサポートについては、福祉基金助成事業や高齢者保健福祉計画により、軽度生活援助サービス等のサポート体制の充実を図っているところでありますが、平常時においては、地域の連携により要援護者の見守り等を行っていただきたいと思います。 また、災害時要援護者避難支援プランにおいては、災害が発生、またはそのおそれが高まったときに、要援護者の避難誘導等を迅速かつ適切に実施するために、あらかじめ、要援護者一人ひとりについて、誰が支援して、どこの避難所に避難させるかを定めた「個別計画」を策定してまいります。	市民福祉
50	県主	現在は月給制度だが日割りにしては。	議員定数及び議員報酬に関してですが、井原市議会で設置しております議会活性化特別委員会において検討することにしており、平成24年3月末までに一定の方向性を出していきたいと考えております。 なお、議員定数及び議員報酬の検討結果につきましては、議会だより、ホームページ等でお知らせいたします。	議会活性化
51	県主	地域を越えてやっていかれないか。市内である程度考えなければ効率が悪いです。	井原市立幼稚園園則第12条に「幼稚園の入園希望者が入園すべき幼稚園の通園区域は、その幼稚園の存する小学校の通学区域とする。」と規定しています。教育委員会に確認したところ、費用対効果等、効率面を重視すれば越境通園も考えられますが、他地区の幼稚園に通園すれば、どうしても子供会等との関連も薄くなり、保護者も地域のぎずなが薄くなるということも考えられるため、幼稚園の通園にあたっては、原則として、園則の規定に基づいて入園をしていただいているとの回答でした。	市民福祉

52	県主	パートナーシップの中で議会としての立場、スタンスはどういう位置か。	市議会議員は、市全体のオピニオンリーダーとして活動する必要があると考えます。また、地区によっては、市議会議員がいない地区もあります。現段階では、チェックしていくことが議会の役割で、今後の動向を見極めて対応したいと考えます。	市民福祉
53	西江原	市民病院の玄関がガラススクリーンになっているが地震がきたらどうなるのか病院の耐震工法になっているのか。	市民病院の耐震化については、1981年(昭和56年6月1日)以降に建築確認を受けた建物に対しては新耐震基準が適用されています。平成16年2月に新築工事が完成しました市民病院は、建築基準法に基づく新耐震基準を満たしています。また、ガラススクリーンの安全性についても法律で規定されている安全基準を満たしています。	市民福祉
54	西江原	井原市には多くの外国人がいるが外国人は有権者になっているのか。人数はどの位か。	井原市の外国人登録者数は、次のとおりです。(H23.9.30現在) 中国 429人 ペルー 32人 フィリピン 27人 インドネシア 18人 ベトナム 20人 ブラジル 10人 韓国 7人 カナダ 4人 米国 3人 朝鮮 1人 ラオス 1人 ハンガリー 1人 の計 553人です。	総務文教
55	西江原	中学生の問題行動が全国ワースト1。学力も井原は県下で平均点以下である。2学期制に問題があるのでは。	児童生徒の問題行動、全国学力・学習状況調査、2学期制について、教育委員会の考え方を次のとおり確認しました。 ○児童生徒の問題行動状況調査結果について 調査結果については、極めて厳しい状況にあり、次の3つの点について見直しや指導の強化について、各学校に改めて指導されています。 (1)早急に校内の指導体制・教育相談体制の点検・整備を行うこと。 (2)不登校児童生徒や問題行動等を起こす児童生徒の抱える問題をとらえ、個に応じた指導に当たること。 (3)集団づくりや規範意識の醸成などを行うこと。 ○全国学力・学習状況調査の結果について 平成22年度に実施した全国学力・学習状況調査では、本市の小学校6年生、中学校3年生とも、県平均、全国平均を下回っていたため、この結果を受けて、本市教育委員会では「平成22年度井原市学校支援・改善プラン」を作成し、各学校での教育実践を進められています。 ○2学期制の検証結果及び今後の方針について 2学期制の導入は、変化の激しいこれからの社会を生きるために必要な「確かな学力」「豊かな人間性」「健康・体力」などの「生きる力」を育てるための教育改革であり、学校の教育活動のあり方全体を見直し、改革をしていくということにも役立ったと考えられます。 現時点では、総じて2学期制は定着してきており、今後も、そのよさを生かすよう工夫した教育活動を継続していきたいと考えられています。	総務文教
56	大江	弱者の立場に立った政治を行っていただきたい。	議会として、市民の皆さんの切実な声をしっかりと受け止め、市民の立場に立った議会活動に取り組むことが最優先課題と思っています。 今後も皆さんに一層信頼される議会となるよう、市民にわかりやすい「真に開かれた議会」を目指してまいります。	広聴広報
57	大江	弱者が死亡したとき、葬式費用の5万円～10万円ほどを家族が負担し、あとは市の方でやっていただきたい。できれば本人の負担無しで、市が葬式をしていただきたい。	井原市には、現在次のような制度があります。 現在井原市の制度としては、生活保護法による葬祭扶助 上限:大人 175,900円、小人 140,700円 行旅死亡人の取扱費用について 1、葬祭費 生活保護法第18条の規定による葬祭費の支給額 (上限:大人 175,900円、小人 140,700円) 国民健康保険加入者 被保険者が亡くなられたとき、喪主に対して5万円を支給。	市民福祉

58	大江	市の共同墓地を井原、芳井、美星に作っていただきたい。	現在、市有墓地が市内に60カ所ありそのうち空き区画が8区画あります。ご提案の共同墓地については、今後の検討課題と考えます。	市民福祉
59	大江	福祉手当がカットされたが、該当者は何人か。0.4%がどのくらいになるのか。市としてカットせずに出していただきたい。	<p>○削減対象者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別障害者手当 43名 ・障害児福祉手当 21名 ・経過的福祉手当 2名 <p>○削減月額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別障害者手当 100円 ・障害児福祉手当 50円 ・経過的福祉手当 50円 <p>○削減理由</p> <p>これらの手当は国の施策で、根拠法令は「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」です。手当額の減額理由については、物価の変動に応じて自動的に額を改定する「自動物価スライド制」となっていることから、この度の改定は、平成22年の消費者物価指数が下落したことに伴い減額となったものであります。</p>	市民福祉
60	大江	市は道路整備で計画路線、要望路線と言って、要望路線が後回しになっている。市民の要望を第一に考えるべきではないか。今でも計画路線を優先するという考えが生きているのか。	<p>担当の都市建設課に確認したところ、市では都市計画決定をしている都市計画街路、新市建設計画で決定した大きな計画道路のほか、地域から要望いただいた道路について事業評価を実施し、整備することが決定した道路を「計画道路」として位置付けております。</p> <p>要望された道路はすぐに計画道路となるわけではなく、この事業評価を受けることとなります。事業評価委員会では現地確認も行いながら、多くの要望された道路を「重要度」「緊急度」「優先度」を勘案し、整備に着手する道路を決定していきます。また事業評価の結果については要望された地元団体等へ返しているとのこと。</p> <p>市議会としても、所管事務調査等を通して市民福祉の向上に向けて議論を重ねてまいります。</p>	建設水道
61	大江	公共下水道を計画的に整備していただきたい。	<p>平成22年度末の公共下水道の整備状況は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・井原処理区 認可計画区域面積 760ha、全体計画区域面積 784.2ha、整備面積 569.6ha、整備率(認可74.9%、全体72.6%) ・芳井処理区 認可計画区域面積 47ha、全体計画区域面積 85ha、整備面積 29.9ha、整備率(認可63.6%、全体35.2%) <p>公共下水道事業の今後の計画ですが、担当の下水道課に確認したところ、井原処理区は平成23年度に第5期事業認可区域変更を行い、95.2haを拡大、認可計画区域面積を760ha、計画目標年次を平成28年度とし計画的に整備している。(このことについては平成23年4月の市広報をご覧ください。)</p> <p>芳井処理区は、平成17年度に第1期事業認可を行い、認可計画面積を47haとし計画的に整備している。なお、第1期事業認可は平成23年度までとなっているため、現在事業認可変更を計画中であり、引き続き整備を行うとのこと。</p> <p>また公共下水道の全体計画は、工事完了の目標年次を平成33年度としており、国からの交付金等を活用し計画的に整備を進めていくとのこと。</p> <p>大江地区につきましては、折口住宅を除き、公共下水道計画区域外ということになり公共下水道計画の実施予定はありません。今後の汚水処理計画につきましては、岡山県が策定しております計画に基づき、公共下水道をはじめ、他の処理施設により最終の目標として汚水処理施設整備100%達成を目指すこととされていますので、公共下水道区域外につきましては、公共下水道事業以外の手法による整備を検討していくことになろうかと思えます。</p> <p>これら新規の事業計画につきましては、現行の公共下水道事業を、平成33年度を目標年次に進めておりますので、早くとも事業完了以後(平成33年度)、検討することとしております。</p>	建設水道

62	大江	東日本大震災で耐震について関心が高まっている。地区公民館などの建設でも50%の補助だけでなく、耐震構造にかかる費用などを考慮し、補助の割合を引き上げていただきたい。	地区集会所等施設整備事業補助金交付要綱により、自治会等の住民組織みずからが集会所等を整備する場合に、事業に要する費用の50%以内の補助金が交付されています。協働推進課に確認したところ、地区集会所等における岡山県内15市のうち補助率30%以内が2市、40%以内が6市、50%以内が7市という状況でした。また、他市においては、上限額を設けていますが、井原市は補助限度額を設けていないため有利な補助制度になっているとのことでした。 建物の安全性を確保するための耐震改修は、現行の制度をご利用いただきたいと考えています。	市民福祉
63	大江	大江地区は水はけが悪い。最近のゲリラ豪雨等で浸水被害が出ている。源代川と高屋川の合流地点を早く改善していただきたい。	ご指摘の箇所は、矢の川と岡山県が管理する高屋川の合流部分と思われますが、担当の都市建設課に確認したところ原因は高屋川の堆積土ということであり、市を通じ岡山県に対し、浚渫を強く要望してまいりたいと思います。	建設水道
64	大江	地域の新聞(山陽、中国)等に井原の記事があまり載らない。市や議会がしっかり情報提供して、もっと載るようにしていただきたい。	今後もしっかりと報道機関へ情報提供していきたいと考えています。また、新聞以外にも議会だよりやホームページ等で情報提供をしていきたいと思っています。	総務文教 広聴広報
65	大江	新川地内の消防機庫から国道313までの道路を早期に整備していただきたい。	ご要望の区間は、県道井原福山港線であり、市を通じ岡山県に問い合わせたところ、道路の両脇に家屋が連担しており地権者の了解が得られなければ計画路線として事業が前に進まないことがあることをご理解ください。	建設水道
66	荏原	少子高齢化や市民病院の産婦人科の医師の確保など、重点的に予算を付けていかないと将来大変なことになると思うがどうか。	市民病院の産婦人科は、常勤医師が退職、後任を確保できず産科を休止せざるを得なくなりました。現在は、大学から派遣される非常勤医師により婦人科外来診療を週2回行っております。 産科を開始するとなれば、常時3名の産婦人科医師と麻酔科医師、小児科医師も必要となります。市民病院での産科の再開は、医師不足が続く現段階では困難と言わざるを得ません。	市民福祉
67	荏原	このたび国保税が大幅に上がったが納得いかない。これ以上上がったら(生活が)どうにもならない。	○国保税引き上げの理由及び今後の見通しについて 市では、加入年齢層の高齢化や医療技術の高度化などに伴う医療費の増加と、景気低迷による保険税の落ち込み等による収支のバランスをとるため、やむなく平成22年度に保険税率を引き上げさせていただきましたが、平成23年度は税率を据え置いています。 しかしながら、国保会計は引き続き厳しい状況にあることから、今後とも医療費の状況や保険税等の歳入の状況を踏まえながら、検討をしていきたいと考えています。 ○医療費削減への取り組み状況について ① 疾病の早期発見・早期治療による重症化の予防のため下記の事業を行っています。 ・特定健診(メタボリック健診)、特定保健指導 ・人間ドック ② 健康に対する認識を深めていただくとともに、医療にかかるコストについて知っていただくために下記の事業を行っています。 ・医療費通知 ③ 医療費の適正化のために下記の事業を行っています。 ・ジェネリック(後発)医薬品の普及促進による薬剤費の削減 ・レセプト点検の充実 これらの事業を行うことにより、税負担に大きく影響する医療費の伸びの抑制につながるものと考えています。	市民福祉

68	荇原	市長が進めている「協働のまちづくり」について、議会としてはどう評価しているのか。		市民福祉
69	荇原	市長と市民との「協働のまちづくり」の中で、話が進み、そこでいろいろ決まったら、議会はいらないうということにつながらないか。	市議会議員は、市全体のオピニオンリーダーとして活動する必要があり、事業に対してチェックしていくことも議会の役割であると考えます。	市民福祉
70	荇原	夏休みに孫が井原図書館へ行ったら、人が多くて座るところがなかったそうです。井原図書館の年間(特に春休み・夏休み)の利用状況はどうなっているのか。	平成22年度の井原図書館の利用状況は次のとおりで、夏休み期間中は特に多くの利用があります。 4月 2,811人 5月 2,862人 6月 3,026人 7月 3,872人 8月 4,243人 9月 2,958人 10月 2,885人 11月 2,748人 12月 2,777人 1月 2,811人 2月 2,736人 3月 2,928人	総務文教
71	荇原	井原図書館は狭いので、井原駅の辺りへ移転し、今のような狭い駐車場でなく、広い駐車場も確保すべきではないか。	教育委員会へ確認したところ、現在の図書館を継続使用される方針とのことです。	総務文教
72	荇原	井原線のプラットフォームに雨よけがないので付けていただきたい。	駅舎の整備について要望があったことを井原鉄道にお伝えし、次のとおり回答をいただきましたので報告します。なお、市議会としましては、今後も井原鉄道の利用促進や支援策について引き続き議論を重ねていきます。 <井原鉄道の回答> プラットフォーム関係の施設の整備につきましては、当社の主要な株主である9自治体からいただく補助金で対応する仕組みになっており、毎年経営内容の審査をパスしなければなりません。現在は、お客様の安全確保の観点から、線路・車両関係等の整備を重点的に進めており、ホームの雨よけ屋根の延長は大変難しい状況にありますので、ご理解賜りますようお願いいたします。	総務文教
73	荇原	井原駅の踏み切りの遮断機が荇原に3箇所もあり、救急車がサイレンを鳴らして急いでいるときでも止まらなければならない。それが原因で、助かる命も助からなかったということになったら大変なのでどうかしてほしい。	踏切の改修について要望があったことを井原鉄道にお伝えし、次のとおり回答をいただきましたので報告します。なお、市議会としましては、今後も井原鉄道の利用促進や支援策について引き続き議論を重ねていきます。 <井原鉄道の回答> 鉄道路線と生活道路が平面交差する場合、地域の皆様の通行の安全を確保する上で、遮断機付きの踏切はなくてはならない大切な施設であります。荇原地区の3カ所の踏切につきましては、遮断機の下りている最長時間は約1分30秒ですが、3カ所同時に下りることのないように工夫しておりますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。	総務文教
74	荇原	国保税の値上げの問題や、これだけ予算が厳しい中でのグラウンド・ゴルフ場の問題などで、議員さんが地元に戻られ、こういうことでいいと思われませんか。どこで手を上げられた(賛成した)のか知りませんが、地元や市民の声をよく聞いて、その声を生かすよう判断していただきたい。	国民健康保険税の値上げについては平成22年2月の定例会で、グラウンドゴルフ場の建設については、これまで数多く一般質問されているほか、グラウンドゴルフ場を四季が丘に整備する予算は、平成22年6月及び平成23年2月の定例会で様々な議論がなされ可決されています。 これらの審議の様子は、会議録に収録し議会事務局、市内図書館に備え付け閲覧することができますし、市ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧いただきたいと存じます。 市議会は、審議の場に多様な市民の声を反映させ、審議の過程において様々な意見を出しながら決定しています。今後も今まで同様市民みなさまのご意見をいただきながら議論を重ねてまいりますので、ご協力いただきますようお願いいたします	市民福祉 総務文教

75	芳井	正・副議長選挙で、立候補(表明演説)していない議員も得票している。傍聴席や井原放送を観ている大変疑問(不思議)に感じる。こういうことの無いよう改善すべきではないか。	井原市議会では「市民に真に開かれた議会」を目指すため、平成23年5月に実施した議長・副議長選挙から、井原市議会独自の正副議長選挙立候補制度を導入いたしましたが、現行の法律では立候補を表明していない議員への投票も有効投票としなければならないことになっております。 このため立候補を表明していない議員への得票があった場合も、有効投票とするよう申し合わせのうえ選挙を実施いたしました。 選挙実施後、ご提案のように「わかりにくい」とのご指摘があったため、次の議長・副議長選挙が予定される平成25年5月には、市民の方にもわかりやすい選挙となるよう、今後議会内で十分検討していきたいと考えております。	議会活性化																														
76	芳井	グラウンド・ゴルフ場の使用料をいくらにするかまだ決めてないらしいが、使用料も決めずに進めて赤字になったらどうするのか。	グラウンドゴルフ場は、高齢者のスポーツ活動拠点だけでなく、市民一人一人の健康づくり、体力づくり、仲間づくりのスポーツ振興の中核施設として整備されます。管理経費は開設初年度に多く要し、年次的に少額となり、反対に利用者は増加していく傾向にあることから、当面は管理経費が収入を上回ることが予想されます。市のほかの体育施設と同様に必要な経費は予算化していく必要があると考えますが、管理運営経費は極力安価に抑え、効率的な運営をする必要があります。 利用される皆さんに親しまれる施設になるよう、予算や条例等の審議の過程で議論を重ねていきます。	総務文教																														
77	芳井	グラウンド・ゴルフの競技人口は過去5年間でどのくらい増えているのか	井原市グラウンドゴルフ協会の会員数の過去5年間の推移は次のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>23年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>井原会</td> <td>81人</td> <td>87人</td> <td>86人</td> <td>86人</td> <td>85人</td> </tr> <tr> <td>芳井会</td> <td>87人</td> <td>75人</td> <td>72人</td> <td>72人</td> <td>70人</td> </tr> <tr> <td>美星会</td> <td>115人</td> <td>103人</td> <td>102人</td> <td>102人</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>283人</td> <td>265人</td> <td>260人</td> <td>260人</td> <td>263人</td> </tr> </tbody> </table>		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	井原会	81人	87人	86人	86人	85人	芳井会	87人	75人	72人	72人	70人	美星会	115人	103人	102人	102人	108人	計	283人	265人	260人	260人	263人	総務文教
	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度																													
井原会	81人	87人	86人	86人	85人																													
芳井会	87人	75人	72人	72人	70人																													
美星会	115人	103人	102人	102人	108人																													
計	283人	265人	260人	260人	263人																													
78	芳井	市は、芳井や美星などからのグラウンド・ゴルフ場へのアクセスを何か考えているのか。	担当の教育委員会に確認したところ、来場者のほとんどが自家用車を利用しての来場であろうと、また、貸切バスあるいは四季が丘団地内を運行している井原あいあいバスを利用しての来場も想定されています。 72台分の駐車場が整備される予定で、通常時は対応できるものの大規模な大会開催時には駐車場が不足することが予想されるため、こうした際の対応策を検討いただくよう市に対し要請しています。	総務文教																														
79	芳井	議会中、約1時間で休憩しているが、なんで2時間ほど続けてできないのか。テレビを観ている者は、時間をやりくりして観ているのに、休憩ばかりしている感じがする。是非改善してほしい。	議会開催中、概ね1時間ごとに休憩を入れていますが、これは議員と執行部が緊張感溢れる議場で議論しているため長時間にわたり集中力を持続させることが難しいこと及び生理的現象に対応するために休憩時間を設けていますので、ぜひとも事情をご理解いただきたいと思います。	議会運営																														
80	芳井	福祉関係とか建設関係などの仕事をしている会社で、その会社の役職についている議員は、その関係の委員会へ所属しないという風にするのが、基本条例や、倫理条例からして基本ではないかと思うがどうか。旧芳井町議会、旧美星町議会ではそうしていたように思うが・・・。	議会の運営は、議員に対する市民の方々の信頼があって初めて実現できるものです。市議会では、本年4月から「井原市議会議員政治倫理条例」を施行するなど、市民に対して高い倫理観をもって市政を推進していますので、従来どおり委員会への所属制限は設けないこととします。	議会運営																														
81	芳井	国号313のNTT付近の工事は、現在どうなっているのか。私の情報では、来年の3月までにはできると、県庁の幹部だったOBが言っているが・・・。	市を通じ岡山県に確認したところ、国道313号線のNTT付近(延長240m)の工事につきましては、平成24年3月末の完成・供用開始を目指し、10月中旬に工事着工する予定です。	建設水道																														

82	芳井	この程、笠岡の干拓に「道の駅」ができて大変盛況で賑わっているようです。芳井には何もないので、造ってほしいという要望があるので考えていただきたい。	「道の駅」設置の要件は、道路利用者のための休憩機能、情報提供機能、地域関連機能を併せ持つ施設であります。駐車場、トイレ等が24時間運営となるなど、周辺住民の理解や、用地の確保、施設整備費用の確保が必要となります。また、設備整備後は、地元生産者をはじめとする地元団体へ経営管理をしていただくこととなります。さらに、商業施設であるため、地元の商店の経営を圧迫することになりかねません。 費用面では、国、県の補助はトイレ等一部の施設に限られており、土地、物産館等の施設整備及び維持管理経費は全て井原市の負担となります。以上のことから設置につきましては種々の課題を克服していかなければならないため、現段階では困難と考えます。	建設水道
83	芳井	一般入札の件で、去年の1月に、行政文書の一部開示請求をして開示してもらったが、今年の4月、同じように請求したら、今回は出せないと言われた。このことは納得できない。	情報公開にあたり、開示したりしなかったりという事例があり、当事者に不信感を与えたということに対して、委員会で執行部から謝罪がありました。市では今後、情報公開に関し迅速かつ的確な処理が図られるよう指導されておりますのでご理解願います。	総務文教
84	芳井	落札率について、清掃業務関係では99%台というのがある。普通は95%未満ということになっているのではないのか。	井原市では予定価格100万円以上の建設工事の入札案件については、予定価格を事前公表しています。また、予定価格に対する最低入札価格の比率が95%以上になった場合、適正な積算に基づいて入札価格が設定されているか否かが調査されます。一方、それ以外の物品調達や質問の清掃業務委託などの役務関係や予定価格100万円未満の建設工事などの入札等につきましては、予定価格は公表されていないため、予定価格の範囲内であれば契約を締結することができることになっています。	総務文教